

カーネギー国際平和財団

原子力発電所輸出者の為の行動原則(Principles of Conduct: POC)の概要

1. POC 策定の経緯

- (1) カーネギー国際平和財団は、長年に亘り原子力の平和利用に関心を払ってきたが、原子力カルネッサンスを迎えるにあたり、原子力業界に対する社会の信頼を高めることを目的に、原発輸出に係る民間の自主的な行動原則(POC)を策定すべく、主要原子力プラントメーカーを勧誘。
- (2) 2008 年 10 月より 3 年にわたり計 8 回の検討会議を開催。
世界的な原子力専門家(元 IAEA 事務局次長ゴールドシュミット氏、元 NRC 委員長メザーブ氏、元 CEA 長官ブシャール氏、STUK(当時)長官ラクソネン氏等)も招聘。
独禁法遵守の観点から弁護士立会いのもと原子力プラントメーカー間で協議を進め、2011 年 9 月に発効。
- (3) 発効後は、各社の POC 遵守状況の確認、今後の方針協議等のため、年 2 回ペースで「POC レビュー会議」を開催(過去 4 回)。
カナダ原子力規制委員会委員長バインダー氏、元 ASN 長官ラコステ氏等の専門家も招聘してアドバイスを受け、POC の更なる強化に努めている。

2011 年 12 月 第 1 回会議 於 モスクワ

2012 年 7 月 第 2 回会議 於 ピッツバーグ

2013 年 1 月 第 3 回会議 於 東京

9 月 第 4 回会議 於 トロント

2. 参加メーカー

日立 GE、東芝、三菱重工(日)、GE-Hitachi、Westinghouse、B&W、MNES(米)、AREVA、ATMEA(仏)、Rosatom(露)、Candu(加)、KEPCO(韓)の計 12 社(順不同)。

3. POC の要旨

- (1) 原子力プラント輸出に際し、以下の(2)に列挙する項目に関するベストプラクティスを確認し、実施すべく自主ガイドラインを策定することで、原子力業界に対する社会からの信頼を高めることを目的とする。
- (2) POC は、国際条約による諸々の規定を組み入れ、IAEA や NSG のガイドラインを全面的に反映もしくは準拠しており、参加メーカーは以下の 6 原則の遵守に向け誠実な努力を払うことが求められている(紳士協定であり法的拘束力は無し)。
 - ① 安全、健康及び放射線防護
 - ② 物理的な防護
 - ③ 環境保護、使用済燃料・核廃棄物の取扱い
 - ④ 原子力損害賠償
 - ⑤ 核不拡散及び保障措置
 - ⑥ 倫理

(3) POC 参加メーカーに求められる役割

- ① POC 遵守の公約、社内運用方針と手順の策定、社としての責任の明確化
- ② 社員に対するトレーニング
- ③ ステークホルダーへの周知活動
- ④ POC 改正時の社内ルールへの反映

4. 今後の予定

- (1) 前回トロント会議では、POC は原子力産業のブランド力向上のため有益であり、今後もその信頼性や透明性を強化するとの方針となり、引き続き活動を継続していく。
- (2) 次回は 2014 年 3 月にレビュー会議を開催予定で、「メーカーが新規導入国に期待すること」等がテーマとなる見通し。

以 上

POC 策定会議／レビュー会議に参加した専門家・VIP 一覧

【POC 策定会議／レビュー会議とも】

- リチャード・メザーブ氏（元 NRC 委員長）
- ゲアー・スミス弁護士（独禁法の専門家として）
- フランク・サウンダース氏（ブルース電力副社長）

【POC 策定会議】

- ユッカ・ラクソーネン氏（STUK、フィンランド原子力規制委員長（当時））
- ピエール・ゴールドシュミット氏（元 IAEA 事務局次長）
- オメール・ブラウン弁護士（原賠法の専門家として）
- ナタリー・ホルバツハ博士（ダンディ大学（英国））（原賠法の専門家として）
- ジャック・ブシャール氏（元 CEA 長官）
- ハマド・カービー氏（UAE IAEA 大使）
- リチャード・ジョルダーノ卿（カーネギー財団理事長（当時））
- ジェシカ・タクマン・マシューズ女史（カーネギー財団代表）
- ルボミール・クレニキー（WANO シニアプログラムダイレクター）

【POC レビュー会議】

- アンドレ・クロード・ラコスト氏（元 ASN 長官）
- マイケル・バインダー（カナダ原子力安全委員会委員長）
- ダンカン・ホーソーン（ブルース・パワー社長）
- ジョージ・フェルゲート（WANO マネージングダイレクター）
- マイケル・ガドボウ（米ジョージタウン大学非常勤教授）
- テッド・グリーンウッド（スローン財団アドバイザー）
- ロジャー・ホーズリー（世界核セキュリティ協会エグゼクティブダイレクター）

以 上